

ソモラ ティボール

ヴァイオリンリサイタル

～音楽と巡る世界旅行 vol.3 東欧～

2026年 **11月7日(土)**

金沢市アートホール

(金沢駅東口ボルテ金沢 6F)

開演 14:00 (開場 13:30)



中山
知子
(ピアノ)



チケット料金

大人 前売り 3,500 円 (当日 4,000 円)

学生 前売り 1,000 円 (当日 1,500 円)

プレイガイド: 石川県立音楽堂チケットボックス (TEL 076-232-8632)

プログラム

ヴェイネル／ヴァイオリンソナタ 第2番

Leó Weiner : Violin Sonata No.2 in F-Sharp Minor, Op.11

バルトーク／ラプソディ 第1番

Bartók : Rhapsody No.1

ヴィエニャフスキ／スケルツォタランテラ

Wieniawski : Scherzo-Tarantella Op.16

コダーイ／アダージョ

Kodály : Adagio

サラサーテ／ツイゴイネルワイゼン

Sarasate : Zigeunerweisen, Op.20

ほか etc

【主催】 音楽と巡る世界旅行 実行委員会

【後援】 北國新聞社／MRO 北陸放送／エフエム石川／一般財団法人石川県芸術文化協会

お問い合わせ 音楽と巡る世界旅行実行委員会 (担当柳沢) 090-9446-4974

出演者プロフィール

Profile



Violin ソモラ・ティボール Szomora Tibor

ブダペストの名門ジプシー音楽一家に生まれる。リスト・アカデミー(ハンガリー国立リスト音楽院)卒業。2002年ハンガリーバイフェスティバルにてデビュー。2005年にはほぼ全額の奨学金を授与され参加したイスラエル・ケシートアイロンマスタークラスの選抜演奏会が、世界40か国以上で放映されているフランスクラシック専用チャンネル・MezzoTVで放映されて以来、演奏活動の場を広げ、ソリストとしてブダペストを中心にドイツ、フランス、オランダ、アメリカ各都市にてオーケストラとの共演、室内楽のコンサートやフェスティバルに出演。ハンガリー国営バルトークラジオ局では、しばしばライブ中継や録音が放映されている。コンサートマスターとしては、2016年のモスクワバレエ団のイギリスツアーにて、ロンドン、バーミンガム他9都市、約60公演を務めた。日本とは縁が深く、2015年から7回のリサイタルを行っている。2026年1月にコジマ録音よりCD「ラブソディ」をリリース。

これまで、世界的ヴァイオリニスト ジョルジュ・パウク、アレクサンダー・マルコフ各氏より「彼のボウテクニックは素晴らしく、完璧である」ジプシーヴァイオリニスト ロビー・ラカトシュ、ピアニスト アンドラシュ・シフ各氏より「才能あふれるヴァイオリニスト」と評されている。現在、金沢に居を移し日本での活動の場を拡げている。



Piano 中山 知子 Tomoko Nakayama

3歳よりピアノを始める。金沢泉丘高校、金沢大学理学部数学科卒業、金沢大学大学院教育学研究科音楽(器楽)科修了。1999年よりハンガリー政府給費奨学生としてハンガリー国立リスト音楽院に2年間留学。2005年より同じくリスト音楽院へ2年間再留学し研鑽を積む。

1999年、金沢フレッシュコンサートオーディションにて審査員グランプリ賞受賞。2002年、全日本彩明ムジカコンクール(埼玉)にて第2位(1位なし)、全音賞受賞。同年、TIAA全日本音楽コンクール(東京)にて新人賞受賞。2004年、第1回バルトーク国際ピアノコンクール(ハンガリー)にてバルトーク作品特別賞受賞など、国内外のコンクールにて入賞受賞。

これまでに、金沢、加賀、ブダペスト、ナジクールシュ(ハンガリー)、ニューヨーク、ハドソン(アメリカ)にてソロリサイタルを開催。ニューヨークのFAZIOLIピアノ工房でのリサイタルでは「音の綺麗なピアニスト」と好評を博す。「駐日ハンガリー大使館コンサート」、「リスト音楽院の仲間たちコンサート」に出演。ジャン・レーサム＝ケーニック氏指揮、オーケストラ・アンサンブル金沢とハイドンの協奏曲を共演。近年は、ソロや室内楽のほか、音楽朗読劇やオペラのピアノ担当としても幅広く活動。CDに「ミクロコスモス」、「ハンガリアン・ラブソディ」、著書に「ともこの旅」がある。